

平成27年度 事業系一般廃棄物減量化計画書のまとめ

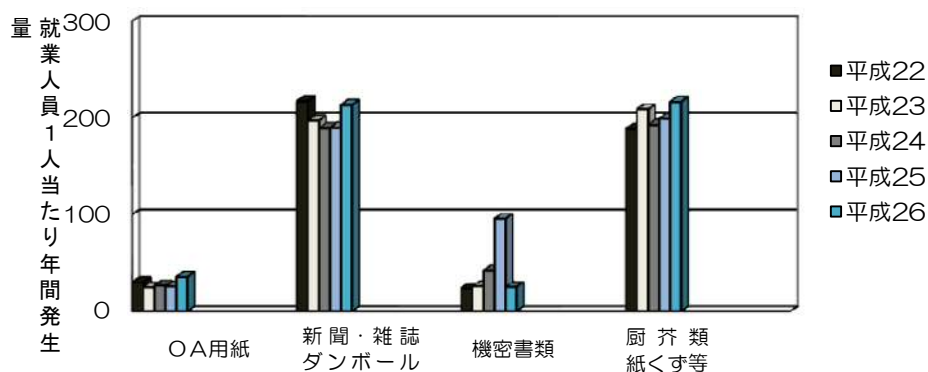
1. はじめに

このまとめは、市内の大規模事業者の皆さまより提出していただいた事業系一般廃棄物減量化計画書に基づいて、平成26年度実績での事業系一般廃棄物の発生状況と減量化・資源化の具体的手法についてとりまとめたもので、事業者の皆さまに今後の廃棄物管理の参考としていただくことを目的として作成しました。

2. 対象及び提出状況

- ◇ 対象事業者数 406
- ◇ 提出事業者数 314（内有効回答数は224）
- ◇ 提出率 77.3%

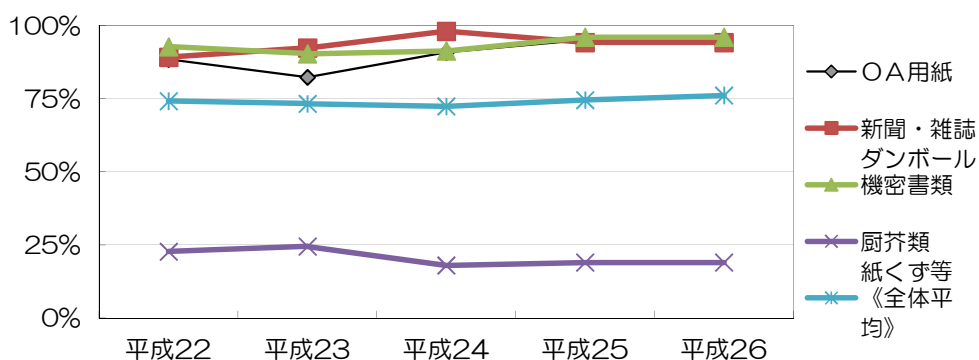
3. 就業人員1人当たり事業系一般廃棄物の年間発生量の推移



◇ 就業人員1人当たり年間発生量 (kg)

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨 芥 類 紙くす等	《 合 計 》
平成22	29.9	217.1	23.5	188.5	459.0
平成23	24.6	197.0	25.7	208.7	456.0
平成24	26.4	189.4	41.9	192.7	450.4
平成25	25.5	190.0	95.5	199.0	509.9
平成26	35.3	213.4	24.9	216.5	490.1

4. 事業系一般廃棄物の資源化率の推移



◇ 資源化率

年 度	OA用紙	新聞・雑誌 ダンボール	機密書類	厨 芥 類 紙くす等	《全体平均》
平成22	87.1%	92.5%	90.7%	26.4%	74.2%
平成23	88.4%	89.1%	92.7%	22.7%	73.2%
平成24	82.3%	92.3%	90.3%	24.5%	72.4%
平成25	90.8%	98.0%	91.3%	18.0%	74.5%
平成26	95.1%	94.2%	96.0%	19.0%	76.1%

5. 減量化・資源化の具体的手法

- 書類系**
- ◇用紙の両面使用・縮小コピー
 - ◇紙ごみを分別しリサイクルを推進
 - ◇文書を電子化することで用紙の使用量を削減
 - ◇シュレッダー処理後の書類を小袋等に入れ緩衝材として利用
 - ◇内部連絡はFAXからEメールに切り替え
 - ◇シュレッダー処理後の書類をRPF化する業者で処理し資源化
 - ◇回覧、掲示板活用によるコピー配布削減
 - ◇機密書類を専門業者で処理し、資源化
 - ◇会議でのプロジェクター使用により、書類配布の削減

- 飲食系**
- ◇生ごみは堆肥化や飼料化を行う業者に処理を依頼
 - ◇弁当や飲み物の容器は、社員に持ち帰りを呼びかけ
 - ◇昼食時に割り箸ではなくマイ箸を使用
 - ◇弁当箱の業者回収
 - ◇生ごみ処理機を使用し自らで堆肥化
 - ◇堆肥化や飼料化を行う業者で処理

- その他**
- ◇材料の納品業者へ梱包の簡略化を依頼
 - ◇プリンタートナーの再利用
 - ◇ISOなどの環境マネジメントシステムに基づく廃棄物管理
 - ◇工程内不良を削減し、廃棄物の削減を図る
 - ◇消耗品は詰め替え可能なものを選ぶ
 - ◇グリーン購入の導入
 - ◇自動販売機の空き缶、空き瓶などは商品納入業者が回収
 - ◇ごみの各自持ち帰り
 - ◇レジ袋有料化によるマイバック運動の促進
 - ◇簡易包装の物品を利用
 - ◇ごみ分別パトロールの実施
 - ◇段ボール、封筒の再利用
 - ◇新規・異動者へ周知および啓発
 - ◇ごみ処理費用のグラフ化による減量の意識付け
 - ◇分別回収手順書による分別及びリサイクルの促進
 - ◇太陽光発電を利用

今後とも事業系一般廃棄物の減量化・資源化にご協力をお願いします。

事務担当	津市環境部 環境政策課 資源循環推進担当
電話番号	059-229-3258
E-mail	229-3139@city.tsu.lg.jp